



【地元企業の技術者等による「匠の技継承講座」Ⅱ（初回）】

《目的・ねらい》

〔目的〕 地元造船会社の熟練技能者等による実技指導を通して、社会で働く方々の技能の高さを実感するとともに、仕事に取り組む姿勢などを学ぶ。

〔ねらい〕 被覆アーク溶接・炭酸ガスアーク溶接の基本的な技能を身に付ける。



《実施内容》

◆被覆アーク溶接・炭酸ガスアーク溶接の実技指導

○日時 平成30年7月5日(木) 1～4限目

○場所 今治工業高等学校 機械造船科実習棟

○対象 機械造船科2年生 1班 8名

○取組
・溶接に関する安全教育・作業要領の説明
・講師による実演・生徒の実技指導
・講師による作品の評価・講評・まとめ

※ウィービングビード・NK検定テストピース



《講師》

明比 良太 氏 今治造船株式会社

久保田武志 氏 株式会社新来島どっく

《講師の助言》

- ・溶接の技術は奥が深く、やればやるほど面白くなるので興味を持って取り組んでもらいたい。
- ・今回、比較的高い技能を身に付けた生徒も見受けられた。これからもしっかりと練習に励んでもらいたい。



《生徒の感想・学んだこと》

- ・講師の方は溶接がとても上手で、ビードがすごくきれいでした。教え方もうまく、自分の気付かないうちに溶接が上手になっていたことが印象的でした。
- ・はじめての突合せ溶接はとても難しかったのですが、もっと練習をして上達したいです。

《SPH推進アドバイザー岡田さんの助言》

実力のある技術者に直接指導を受けて、生徒は技能向上のポイントを的確に理解できた。上手くできなかった人も、その原因が理解できた様子で、今後の練習で改善が見込まれる。

《成果・今後の課題》

熟練技能者の方々から直接指導を受けることは、生徒にとって、とても貴重な体験です。今後も、この体験、そして緊張感を大切に、技能定着を図っていきたいと考えています。

